

# 公募制推薦入学試験 〈総合評価型〉

2027年度は公募制推薦入学試験として実施

〈出典一覧〉

|      |               |                                                                                                                                                                                                                 |      |
|------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 日 文  | 前田安正          | 『AIに書けない文章を書く』                                                                                                                                                                                                  | 筑摩書房 |
| 心 理  | 内閣府政府広報室      | 国民生活に関する世論調査（令和6年8月調査）を加工して作成<br><a href="https://survey.gov-online.go.jp/living/202412/r06/r06-life/">https://survey.gov-online.go.jp/living/202412/r06/r06-life/</a>                                          |      |
| 福 祉  | 内閣府孤独・孤立対策推進室 | 人々のつながりに関する基礎調査（令和6年）調査報告書（令和7年4月）<br><a href="https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r6.html">https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r6.html</a>                     |      |
| 初 教  | 毎日新聞          | 「「工学女子」の育成支援 追い風を確実な流れに」（2024年1月18日東京朝刊）                                                                                                                                                                        |      |
| 安 全  | 消費者庁          | 食品表示法に基づく自主回収の届出状況（運用開始（令和3年6月1日）～令和7年3月末時点）<br><a href="https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_recall">https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_recall</a> |      |
| ビジネス | 日本経済新聞        | 社説「食品ロス削減へ商習慣見直せ」（2025年8月23日朝刊）                                                                                                                                                                                 |      |
| ビジネス | 消費者庁          | 2023（令和5）年度食品ロス量推計値の公表について<br><a href="https://www.caa.go.jp/notice/entry/042653/">https://www.caa.go.jp/notice/entry/042653/</a>                                                                               |      |

人間社会学部 心理学科 適性テスト：60分

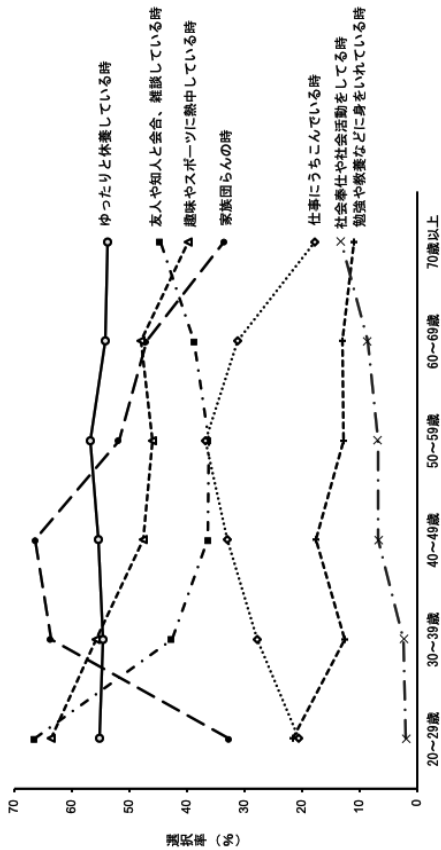
内閣府政府広報室は、2024 年 8 月から 9 月にかけて全国の男女計 3,000 人を対象に、国民生活に関する世論調査を実施した。この調査の一部では、「あなたは、日頃の生活の中で、どの程度充実感を感じていますか」という質問に対して「十分感じている」、「まあ感じている」、「あまり感じていない」と回答した者を対象に、さらに「日頃の生活の中で、充実感を感じるのは、主にどのような時ですか」（複数選択回答可）と質問している。

下記の図は、各項目が選択された割合を、回答者の年代ごとにまとめたものである。

【問 1】 この図から読み取れる、日頃の生活の中で感じる充実感の年代ごとの特徴や傾向を、400 字以内で説明しなさい。

【問 2】 問 1 で見出した特徴や傾向から、どのようなことが考えられるか。あなたの見解を 400 字以内で論じなさい。

図 年代別にみた「充実感を感じる時」



（出典：内閣府政府広報室「国民生活に関する世論調査（令和 6 年 8 月調査）」の結果から一部抜粋して作成）

近年、日本では物価上昇による市民生活の困難が課題とされている。それに対して政府が取りうる対策について、(1)必ず2つ以上の案を挙げ、(2)それぞれについて利点と欠点を明示し、(3)あな自身はその対策案を支持するか述べて下さい。以上の(1)(2)(3)すべてに言及し、800字以内でまとめなさい。

[illegible]

(集計対象：相談相手が「いる」と回答した 9,858 人)

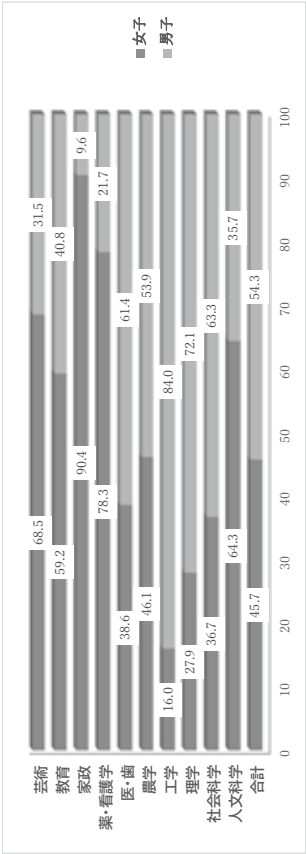
(出典：内閣府孤独・孤立対策推進室「人々のつながりに関する基礎調査（令和6年）調査報告書」令和7年4月）

公募制推薦入学試験〈総合評価型〉

問 以下の図、日本の「大学(学部)専攻分野別の男女比」は、文部科学省「2023年度 学校基本調査」を基に、毎日新聞社が作成したものである。まず、この図から読み取れることを述べなさい。また、この図および、この図とともに掲載された記事（一部を抜粋）をふまえた上で、小学校教諭もしくは保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）として、教育・保育の中でどのようなことに留意したいか、自身の考えを具体的に記述しなさい（800字以内）。

なお、小学校教諭と保育者のどちらの立場から述べるかを解答用紙の【 】内で選択してから解答すること。

図 日本の「大学(学部)専攻分野別の男女比」



※文部科学省 2023年度 学校基本調査を基に毎日新聞社が作成

日本の大学で工学を学ぶ女性の少なさは世界でも際立っている。  
経済協力開発機構（OECD）の21年の調査では、高等教育機関の卒業・修了生に占める女性の比率は「工学・製造・建築」分野が16%と、38カ国中最下位だった。平均値28%を大きく下回り、最も高いアイスランドとポーランド（41%）の半分に届かない。  
大学の理工系学部で人気が高いのは薬学部。資格が得られて働やすいイメージから、親世代の支持も強い。  
農学部や、理学部の生物学科は女性比較的多いが、物理学科や数学科は少ない。工学部はそれに輪を掛けた不人気ぶりだ。文部科学省の学校基本調査でも、工学部の女子比率は16%にとどまる。  
なぜこうした現象が起きているのか。東京大の横山広美教授（科学技術社会論）は、社会的なステレオタイプ（先入観）の影響を指摘する。  
「物理・化学は男子の学問」「女子は数学が苦手でもかまわない」という無意識の偏見が親や教師、生徒自身にあり、文理の選択や進路指導、将来の職業観に影響する。横山さんらは日欧の共同研究で統計的に裏付けた。「偏見によって、理工系を志す女子がさまざまな障壁に直面していることは見過ごせない」と、現状を変える必要性を強調する。

図および記事 出典:毎日新聞(東京) 2024年1月18日朝刊 11面 (記事の文章を一部改変)